



特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク
代表理事 兼子 佳恵



内閣府復興支援型
地域社会雇用創造事業

南三陸

地元の海産物を使った食事処で 観光地として南三陸のブランド化を推進

成澤 英子 *Eiko Narisawa*

南三陸町戸倉在住。19歳より和裁師として地元住民の着物の仕立てを行う。また、ホテルや民宿での調理と配膳を担うほか、戸倉漁協の女性部で地域の行事にて御馳走を振る舞ってきた。震災では自宅や車を失うなど大きな被害を受けたが、避難所では炊事場担当として多くの被災者やボランティアへ食事の提供を行うなど活躍。



南三陸

戸倉発祥の繭細工で 女性の雇用を創出し、復興の足掛かりに

松岡 由香利 *Yukari Matsuoka*

南三陸町戸倉在住。戸倉漁協婦人部で海産物加工に従事する傍ら、嫁ぎ先が戸倉で最大の養蚕農家でもあったため、伝統工芸品の繭細工を22年間に渡り、伝承してきた。現在も地元小学校の総合学習にて、繭細工の指導を行っている。かつて中越地震の復興のために取り組んだ繭細工を、自身と南三陸復興のために事業化を構想。



宮城県

様々なステークホルダーと連携し 効果的な除染システムの開発に取り組む

三野 朋美 *Tomomi Mino*

大阪市在住。インテリアコーディネーター。外資系研修会社に勤務し、退職後に東日本大震災における放射性物質による汚染状況を知り、金沢大学除染プロジェクトチームの事務局スタッフに就任。2012年7月、特定非営利活動法人復興 Design Network を有志と共に設立。除染システムの開発に取り組む。



石巻

被災したおかあちゃんたちが 暮らしの復興を目指し、縫い仕事を拡大

秋山 京子 *Kyoko Akiyama*

石巻市渡波在住。発災当日の14時まで、タクシー会社の無線通信の業務に従事していた。震災後は9ヶ月間、実家で生活していたが、その間は泥だしや瓦礫撤去に追われる日々を過ごす。現在の「おだってぼりいで」の仲間と出会い、タオル地によるグッズ制作のグループを結成し、今に至る。



石巻

災害時移動支援事業を発展させ、 移動困難者を支える交通システムをつくる

村島 弘子 *Hiroko Murashima*

北海道札幌市生まれ。大学卒業後は児童会館の指導員として勤務。その後、アジアの独り歩き、農業・漁業・工業、アラスカ～中南米縦断、研究農場スタッフ等を経て、震災ボランティアに参加。当初は2週間の活動予定だったが、早くも2年が経過。Reraを石巻に根ざした「震災による新しい財産」にしたいと考えている。



石巻

市民メディアづくりを通じて 住民主役の「まちづくり」の実現をめざす

大矢 中子 *Nakako Ohya*

東京都生まれ。元銀行員。震災前は東京でUstreamを利用した映像制作、配信会社を経営。仙台で参加していたお茶会の友人の被災を契機に、石巻でのボランティア活動に従事。被災地をメディアでつなぐプロジェクト「笑顔311」のプロジェクトをスタート。仙台の大学生をまきこみ、映像配信事業で東北と日本の復興に挑戦。



南三陸

南三陸町のファン拡大をめざし、 南三陸町イチオシの海産物を通販する

阿部 民子 *Tamiko Abe*

山形県生まれ。南三陸町戸倉に嫁ぎ、三人の子どもを育てながら牡蠣・ワカメ・帆立等の養殖漁業に従事して 28 年。震災後に漁業設備や自宅を失い、人を呑みこむ海が怖くなるが、これから先を考えた時、迷い、たどりついた答えが、やっぱり海に携わる仕事だった。南三陸町イチオシの海産物を取り揃えた通販事業を開始。たみこのファンを増やす事で南三陸町のファン獲得をめざしている。



仙台

民宿経営の経験を活かし、 安心安全、手作りにこだわった夕食を宅配

小野 美紀 *Miki Ono*

仙台市在住。東松島市で民宿や海苔養殖業を営んでいたが、震災で自宅を含め全て流出。民宿では和・洋・中華・精進料理・デザートやケーキに至るまで幅広く手がけてた。また、かつて 2 歳~96 歳までの 3 世代家族に安心安全な料理を提供してきた自負もあり、食での起業を決意。フードコーディネーター、食生活アドバイザー。



南三陸

津波被害のレストランを再生し、 住民が気軽に集まれる場所をつくりだす

三浦 さき子 *Sakiko Miura*

南三陸町戸倉地区の波伝谷にある農家で生まれ育つ。幼少期にチリ津波を経験。志津川漁協戸倉支部の婦人部元部長、志津川町母子福祉会会長、波伝谷仮設自治会会長をつとめる。生まれ育った南三陸戸倉が「大好き！」という一心で、津波で失った農漁家レストランの再開に向けて取り組んでいる。



石巻

被災したまちを明るくするため ハワイアンやリゾートウェアを製作、販売

阿部 友美 *Yumi Abe*

石巻市出身、東松島市在住。幼少からの手芸好きが高じて高校の家政科、ドレスメーカーの専門学校へ進学。卒業後はサイパンのブティックで3年間、ファッションデザイナーとして生地の手入れからリゾートウェアの製作までを行い、帰国後は縫製工場でパタンナーとして働く。「ハワイアンやフラでまちを明るくしたい！」と起業。



石巻

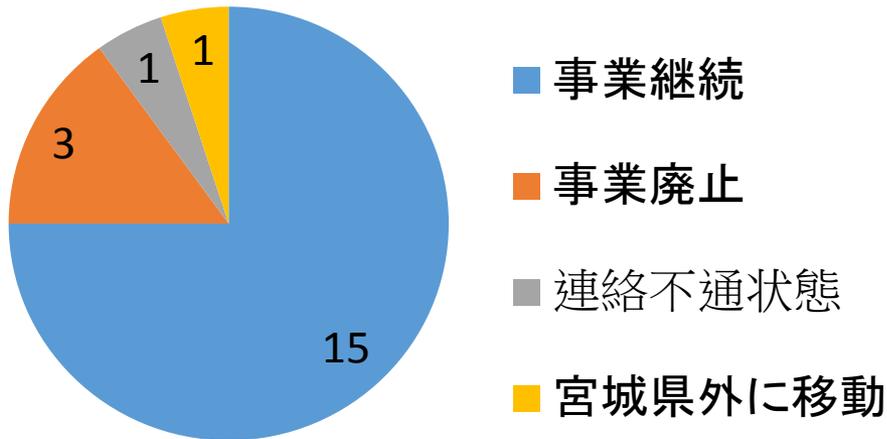
仮設住宅入居者、在宅避難者が ゆっくりお茶っこだできる憩いの場を提供

阿部 美幸 *Miyuki Abe*

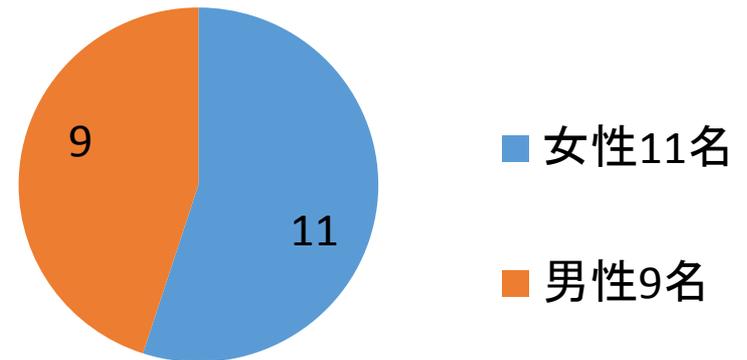
石巻市渡波在住。石巻市で水産業を営んでいたが震災で被災。震災後、約5カ月間の避難生活で「好きなことをしたい」、「好きな仕事で生きていきたい」という想いが高まる。その後、地域で仮設住宅や在宅避難者と接する中で、高齢の方々に対する食事提供を始める。「この取り組みを仲間たちとの仕事にしたい!」と考え、起業を決意。



24年度起業支援対象者 活動状況



24年度起業家男女比





宮城県震災復興起業支援業務